

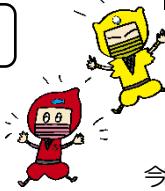
令和8年

寒川学校給食センター

毎月19日食育の日

1

月 給食だより



今日の献立はこちらから



あけましておめでとうございます



ふゆやす お がっき はじ むかし いちがつい に がつ に さんがつ  
冬休みが終わり、いよいよ3学期が始まりました。昔から「一月往る二月逃げる三月  
さ ねんどまつ む つきひ なが はや かん じき  
去る」といわれてきたように、年度末に向けて月日が流れるのを早く感じる時期です。  
かぜ 風邪やインフルエンザも流行していますので、体調管理にはより一層気をつけて、1日  
りゅうこう たいちょうかんり いっそう き にち  
1日を大切に過ごしてほしいと  
おも 思います。

今年はうま年!



うまのように野菜を  
たっぷり食べよう!



箸をうまく使いこなして  
きれいに食べよう!



よく味わってうま味  
を感じよう!



こんげつ こんだてしょうかい  
今月の献立紹介



★白玉雑煮★

11日は鏡開きです。白玉団子を入れた野菜たっぷりのお雑煮です。

★『高座』のこころ。鍋★

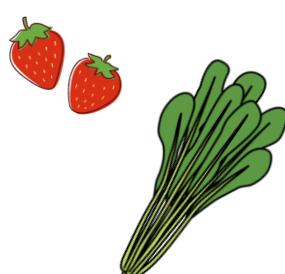
全国学校給食週間にあわせ、寒川産の食材を使った『『高座』のこころ。』  
鍋を出します。寒川産の小麦粉を使った「すいとん」が入っています。

★芋煮★

山形県の郷土料理です。里芋や牛肉のほかに野菜をたっぷり入れたしょうゆ味の汁ものです。



にんじん ねぎ キャベツ 生しいたけ 小松菜 ほうれん草  
さといも はくさい だいこん こまつな そう  
里芋 白菜 大根 ブロッコリー いちご 小麦粉 みそ



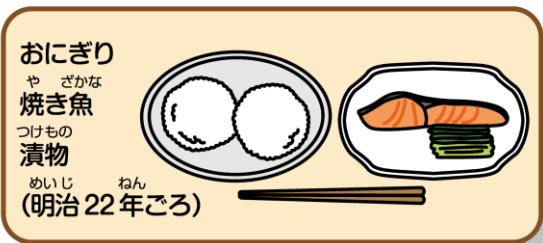


1/24～1/30は  
「全国学校給食週間」です

がつ こう きゅう しょく はじ

## 学校給食の始まり

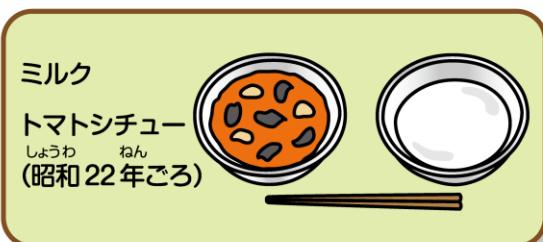
明治 22 (1889) 年、山形県の私立忠愛小学校で、貧しい子どもたちへ食事を提供したのが始まりとされています。この学校は大督寺というお寺の中にあり、お坊さんたちが日々を回ってお経を唱え、いただいたお金や食べ物を使って食事を用意していました。大正 12 (1923) 年には、子どもたちの栄養状態を改善するための方法として、学校給食が国から奨励されるなど、各地へ広がりましたが、戦争による食料不足で中止せざるを得なくなってしまいました。



## 支援物資による学校給食の再開



戦後、子どもたちの栄養状態の悪化を心配する声が高まり、昭和 21 (1946) 年 12 月 24 日に LARA (アジア救援公認団体) から給食用物資の寄贈を受けて、翌 1 月に学校給食が再開されました。当初は 12 月 24 日を「学校給食感謝の日」としていましたが、その後、冬休みと重ならない 1 月 24 日からの 1 週間を「全国学校給食週間」とすることになりました。



## バラエティー豊かな献立内容に



昭和 29 (1954) 年に「学校給食法」が成立したことでの、実施体制が法的に整い、学校給食は教育活動として位置付けられるようになりました。主食はパンが中心でしたが、昭和 51 年に米飯 (ご飯) が正式に導入されると、カレーライスや炊き込みご飯などが登場し、献立内容が充実してきました。



このように、学校給食の内容は時代とともに変化していますが、いつの時代も変わらずに、「子どもたちが見えることなく、おいしく食べて、健やかに成長できるように」といった願いが込められています。現代では、大人になっても自分自身で考えて健康な食生活を続けることができるよう、学校給食は「教材」としての役割も担っています。

## 日本の学校給食のあゆみ

